

【アゼルバイジャン経済トピック 157 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 10 月 30 日

黒海海底ケーブル敷設事業における FS 実施

黒海海底ケーブル敷設事業について、22 年 11 月及び 23 年 3 月付の経済トピックでも紹介しておりますが、10月 17 日、アゼルバイジャン・エネルギー省が、同事業の実施に向けた FS の入札を公開したので改めて事業概要と併せて紹介します。

昨年 12 月、ルーマニア・ブカレストにて、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長立ち会いのもと、アゼルバイジャン及びジョージア、ルーマニア、ハンガリーの4か国首相が「グリーンエネルギーの開発・送電分野での戦略的パートナーシップに関する協定」に署名を行いました。現在、同協定に基づき、アゼルバイジャンからジョージアの陸上区間及び黒海海底(ジョージア・ルーマニア間 1,195km)において高圧直流送電線(1,000MW)と光ファイバーケーブルを敷設する事業が計画されています。プロジェクト予算は、23 億ユーロとされており、2029 年末までの完成を予定しています。

本 FS では、技術面のみでなく、経済性、法規制の観点から効率的な送電方法、変動制再エネ活用による影響、グリーン水素の輸出方法に加え、マーケットリサーチの実施が予定されています。

また、当該 FS の実施期間は最長 80 週間で、提案書提出の締切りは本年 12 月 1 日、12 月中旬には契約が締結される予定です。

詳細については、以下アゼルバイジャン・エネルギー省ウェブサイトをご確認ください。

<https://minenergy.gov.az/en/tenderler/energetika-nazirliyi-aciq-tendere-devet-edir>

(以上)